



【 SANKOSHA SDGs Action 】

～ SDGs目標達成に向けて ～

『 サンコーシヤグループは
SDGs実現に貢献してまいります 』

＜2024年 7月 更新＞

サンコーシヤグループ SDGs取組宣言

- 『世界を変えるための17の目標 / SDGs』が国連サミットで採択され、世界がそれぞれのゴールに向かい変わり始めています。
- 私たちサンコーシヤグループは、創業以来、自然災害である『雷』と向き合い、雷防護技術の発展に貢献して参りました。
- 当社は通信、電力網整備などの戦後復興事業への貢献をはじめ、高度成長のインフラ構築を支えてきました。
- 『広く親しまれ社会に貢献するサンコーシヤを目指す』という当社経営理念のもと、この『持続可能な開発目標 / SDGs』に共感し、サンコーシヤグループは最終ゴール2030年に向かって事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会実現に貢献してまいります。



サンコーシャグループ グループ会社一覧



【 海外グループ会社 】

<販売拠点>

- SANKOSHA U.S.A., INC.
- SANKOSHA ENGINEERING
(THAILAND) CO.,LTD.
- SANKOSHA KOREA CORPORATION
- 山光社香港有限公司

<製造拠点>

- PT. SANKOSHA INDONESIA
- SANKOSHA VIETNAM
- 広州圣科薩防雷科技有限公司
- L.V. Control Sdn. Bhd.
- 上海圣科萨国际贸易有限公司

【 国内グループ会社 】

<販売拠点>

- 株式会社北陸サンコーシャ
- 株式会社九州山光社

<製造拠点>

- 株式会社ライゼン
- 株式会社茨城テック
- 北九州住設株式会社

<独自事業>

- 株式会社フランクリン・ジャパン
- 株式会社ベータテック
- エースライオン株式会社
- 株式会社オプトテクノ
- 株式会社山光社エステート

<設備工事等施工>

- 株式会社サンコーシャシステムエンジニアリング



＜都市及び重要インフラのレジリエンス 向上策としての雷防護事業＞

当社は雷防護システム及び関連製品の提供を通じ、通信・電力・交通等の重要インフラを雷被害から防護し、当社技術が都市機能のレジリエンス(※)向上に貢献することを目指してゆきます。

(※) レジリエンス: Resilience、強靱性/事故や障害からの回復性・復元性

1 貧困をなくそう



『貧困をなくそう』

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に 終止符を打つ

11 住み続けられるまちづくりを



『住み続けられるまちづくりを』

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



『産業と技術革新の基盤をつくろう』

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

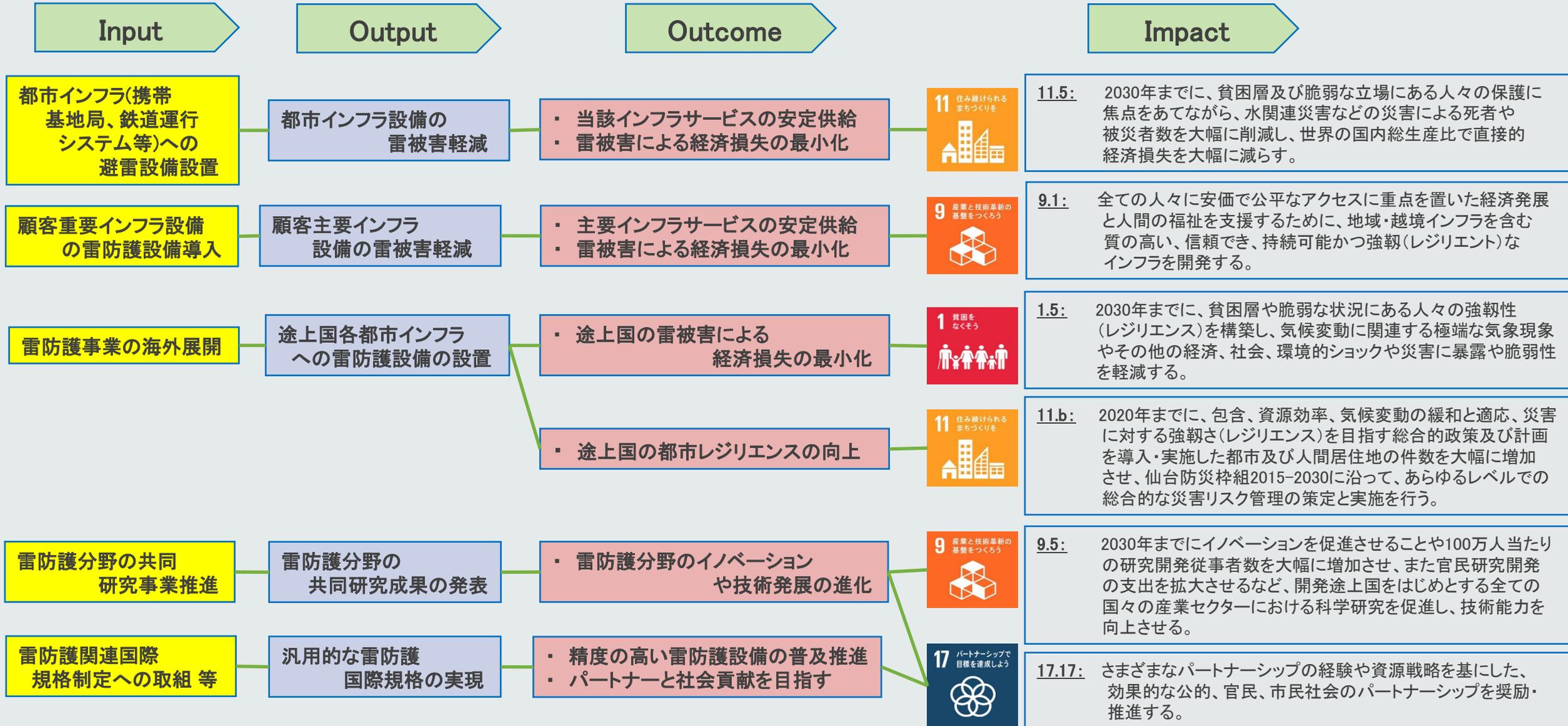
17 パートナーシップで目標を達成しよう



『パートナーシップで目標を達成しよう』

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

サンコーシャグループSDGs活動のロジックモデル <雷防護関連事業>



都市インフラに対する雷防護事業

- ・ 1930年の創業以来、サンコーシヤグループは『雷防護』にあたって常に基盤防護まで捉えた技術提供を徹底し、心がけてまいりました。
- ・ 雷コンサルティングでは、サンコーシヤグループが蓄えたノウハウを基に、現地調査から対策提案、製品提供からメンテナンスまで一貫したサービスを提供し続けています。

雷防護事業の海外展開

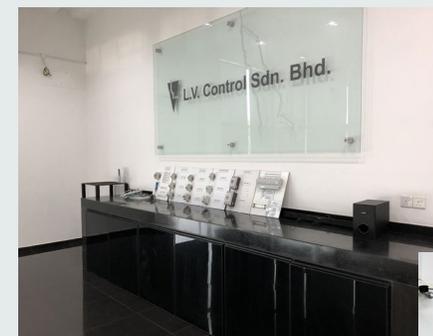
- ・ “世界的災害である「雷」には、世界水準の本質的な「雷防護」を打ち立て向き合う” という理念の元、サンコーシヤグループは海外展開にも注力しています。
- ・ 現在、アメリカ・中国・韓国・タイ・ベトナム・インドネシア、マレーシアの7カ国に拠点展開を図り、世界各地のインフラや経済の発展に当社の技術力や視野が大きく貢献しています。



【 飛行場に整備している
空港防護システム 】



警備センサー及び付帯設備の設置を行うとともに、新規追加及び改修警報区画に対応するためのシステム改修・調整を行う整備工事となり、今後全国の空港設備にて段階的に工事計画がなされています。



【 L.V. Control Sdn. Bhd 】

【 広州圣科薩防雷
科技有限公司 】



都市機能向上に向けた情報通信ソリューション事業

- ・最先端の独自技術と製品を駆使し、さらに緻密化・複雑化する情報通信ネットワークをサポートしています。
- ・各種端子板をはじめとするメタル通信関連の機器・設備から、光デバイス、カプラをはじめとする光通信関連の機器・設備及び各種制御機器やCATV関連機器に至るまで、より高速化する次世代コミュニケーションネットワーク構築に不可欠な製品を供給し、都市機能向上に貢献し、住みやすい街として、人々の満足度に貢献してゆくことを目指してゆきます。

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



【 200心光パッチパネル 】

5G設備やエッジデータセンター
などの重要な光配線接続・切替
に使用されています。



【 劣化診断付き
Cat6A対応LAN用SPD
LAN-CAT6A-P+II (R) 】

主な用途

- ・10ギガビットイーサネットの保護
- ・マルチギガビット・イーサネットの保護
- ・ネットワークカメラの保護
- ・無線LANアクセスポイントの保護 他

電気設備学会『星野賞』を受賞

- グループ会社/株式会社フランクリン・ジャパン社員が、電気設備学会より国際貢献または電気設備の学術・技術に係わる国際的に顕著な功績があった人物に贈られる『星野賞』を受賞しました。
- 今後もこのような活動を通して、社会インフラ維持に貢献していきます。

日本開発工学会より奨励賞を受賞

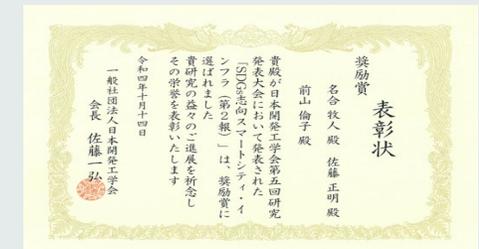
- 日本開発工学会主催の第5回研究発表会において、当社メンバーが奨励賞を受賞しました。
- 日本の社会課題の解決を通して、総合的なビジネスの創造に繋げる為、他社メンバーと協働で対応。
- 今回の発表テーマは、『SDGs志向スマートシティ・インフラ』、官民連携で加速する為、全国で計画的な実装に向けた取組がされています。

日本電気協会/雷保護技術講習会

- 日本電気協会主催の雷保護技術講習会が開催され、サンコーシヤグループ社員が講師として登壇、『雷被害状況と雷保護の考え方』や『電気・電子機器の雷保護』などを分かりやすく解説しました。
- 今後も雷保護技術の普及の為、このような活動を継続してゆきます。



【星野賞楯】



【日本開発工学会 表彰状】



【雷保護技術講習会】

マレーシア 5Gスマートポール案件

- ・ マレーシアでは5Gインフラ整備の為、DNB社(国有企業)を設立、5Gサービス提供をスタート。
- ・ グループ会社/ L.V. Control Sdn. Bhd.は、モバイル・オペレータやネットワーク・ファシリティ・プロバイダーと共に、ネットワーク設備等に関してDNB社メンバーとの打合せを行い、5Gスマートポール向けPDU盤およびHEX(熱交換機)を受注。
- ・ 今後もマレーシア5Gインフラ整備に関与し、都市重要インフラのレジリエンス向上に貢献してゆきます。



【 5Gスマートポール 】

タイ 水道公社/水道ポンプ設備案件

- ・ グループ会社/ SANKOSHA ENGINEERING (THAILAND) CO.,LTD.は、タイ水道公社(MWA)水道ポンプ設備向けに、3種類の当社製SPDを納入。
- ・ 今後も引き続き、タイ及び周辺国の水道をはじめとするインフラ関連案件へ積極的に関与、都市機能のレジリエンス向上に貢献してまいります。



【 Metropolitan Waterworks Authority 】

<雷情報の観測・情報発信を通じた 気候変動への対応と促進>

情報化社会の高度化に伴い、低電圧の機器の増加、ネットワーク化が進み、雷の被害は増加しています。当社の雷防護製品によって落雷被害を最小化させるとともに、雷対策情報やグループ会社/株式会社フランクlin・ジャパンの雷・気象情報の提供により、雷被害回避や事前の落雷対応を可能にすることによる人的・物的被害の軽減を目指してまいります。

4 質の高い教育を
みんなに



『質の高い教育をみんなに』

すべての人々に包摂的かつ公平
で質の高い教育を提供し、生涯
学習の機会を促進する

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



『エネルギーをみんなに
そしてクリーンに』

すべての人々に手ごろで信頼でき、
持続可能かつ近代的なエネルギー
へのアクセスを確保する

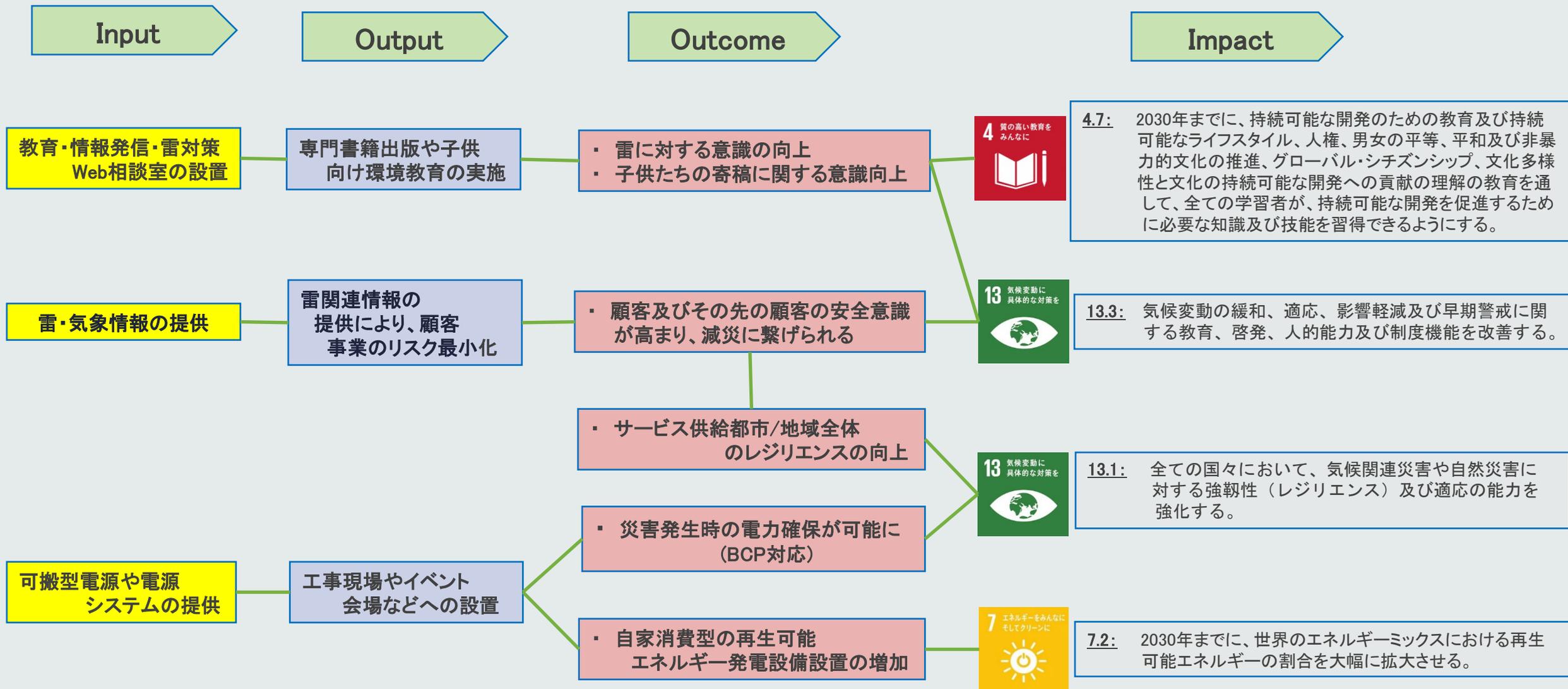
13 気候変動に
具体的な対策を



『気候変動に具体的な対策を』

気候変動とその影響に立ち向かう
ため、緊急対策を取る

サンコーシャグループSDGs活動のロジックモデル <雷情報及び気候変動への対応>



エネルギー関連事業

- ・ サンコーシヤグループはインフラ構築で培ったノウハウと最新技術を融合し、太陽光エネルギーなどのクリーンエネルギーや次世代エネルギーの設備・システムを社会に提供しています。
- ・ また、BCP対策として注目を集める非常用電源として蓄電システムやディーゼル発電機など幅広いラインナップで、社会の要求に対応し、各インフラへのサービス安定供給の実現を目指してゆきます。

雷予測情報の提供

- ・ また、雷防護の先駆者として築きあげた技術とメソッドを活用、高度にIT化された現代の産業インフラを雷被害から守ってゆくため、製品の供給にとどまらず、国内唯一の全国雷観測ネットワークを利用した落雷情報サービスやコンサルティング、システム構築までを、高い技術を駆使してトータルでサポート、雷被害による経済損失の最小化を目指してゆきます。



オフグリッド電源システム

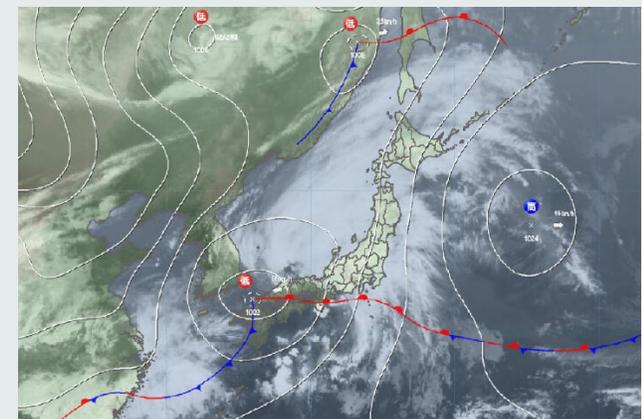


LS7002センサ



雷・気象情報の提供

- ・ サンコーシヤグループは、外部雷保護システムから内部雷保護システム/雷観測システムその他、雷による被害を防ぐ「防雷」のみならず、「調査・分析」についても早くから注力し、グループ会社/フランクリン・ジャパンが雷観測ネットワーク「JLDN」を構築し、31基のセンサーにより国内全域での24時間体制リアルタイム雷観測を実現しました。
- ・ 「JLDN」の雷データと気象庁の気象データを組合せ、人命や財産を守るための落雷・天気情報・雨量など情報提供サービスを展開することにより、雷被害回避や事前の落雷対応を可能にすることによる人的・物的被害の軽減を目指してまいります。
- ・ さらに、観測結果を当社の様々な分析から雷防護技術向上に役立てることを目指してまいります。



【衛星、天気図の表示例】

“ まんがでよくわかるシリーズ ” 『 雷のひみつ 』

- ・ 創業90周年記念事業として、停電を起こしたり、電化製品を壊したりする『 雷 』の正体を解き明かし、雷被害を防ぐ方法など、『雷』とのつき合い方などをわかりやすく紹介した小学生向け学習まんが書籍『雷のひみつ』を制作し、出版した書籍を全国の小学校や公立図書館 に寄贈致しました。



【雷のひみつ/
プレスリリース】



『 雷サージの本(スッキリ! がってん!) 』

- ・ 近年、情報高度化につれて電子機器の雷被害が増加傾向、落雷によって発生する雷サージが原因です。
- ・ 雷サージとはどのようなものなのか、雷被害のリスクを低減するためにはどのような雷サージ対策が有用なのか等について解説した書籍『雷サージの本(スッキリ! がってん!)』を制作、出版いたしました。



【雷サージの本】

子供向け『雷の勉強会』実施

- ・ 子供たちが科学に興味を持ってもらうことを主旨として各所で開催される「ラジオ工作教室」の中で、当社社員が講師になり、当社発刊の『雷のひみつ』等を教材に、子供たちに雷の勉強会を実施しました。
- ・ 開催地 : 2022年 御前崎市B&G海洋センター、北海道紋別市民会館、奄美海上保安部
2023年 南知多町篠島小学校、日本科学未来館(東京/江東区)



【ラジオ工作教室】

三重大学との共同研究

- ・ 三重大学 気象・気候ダイナミクス研究室とグループ会社/株式会社フランクリン・ジャパンで雷の長期変動に関する共同研究を開始しました。
- ・ 将来的に雷の発生数や分布がどのように変化するのか、海水温・黒潮などの日本付近を流れる海流や大気循環変動の長期的な視点から研究を行う予定です。

お天気講座『お天気とかみなりの話』

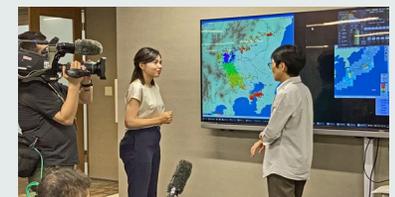
- ・ 相模原市内公民館 文化部主催講座が開催され、グループ会社/株式会社フランクリン・ジャパンの気象予報士が講師として登壇、『雷や天気の基本知識』などを分かりやすく解説しました。
- ・ 開催地 : 2022年 光が丘公民館、小山公民館

各種メディア取材を通して『雷』に関する情報提供

- ・ グループ会社/株式会社フランクリン・ジャパンの社員が、各種メディア取材依頼に対応、雷や雷からの身の守り方などについて解説、雷に関する知識や情報の普及に努めています。
- ・ メディア : フジテレビ (News イット!), NHK (首都圏ネットワーク)、日本テレビ (News Zero)
MBSラジオ (ネットワーク 1・17)、Lucky FM (防災のチカラ)



【お天気講座案内】



【メディア取材の様子】

雷に関する情報発信

ホームページを通じて『雷対策の基本』『接地の基礎知識』など幅広い情報を公開するとともに、『雷対策WEB相談室』を開催、雷に関する幅広い知識や対策の普及にも努めています。

(※) 「株式会社サンコーシャ / 雷対策WEB相談室」

<https://www.sankosha.co.jp>

(※) 「株式会社サンコーシャ / 雷対策の基本」

<https://www.sankosha.co.jp/basic-lightning-protection/>

(※) 「株式会社サンコーシャ / 接地の基礎知識」

<https://www.sankosha.co.jp/earthing-systems/>



4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



雷に関する情報発信 / 国内外グループ会社

サンコーシャグループ各社もHPを通じて、雷に関するいろいろな知識の普及に注力しています。また、雷対策事例を紹介するとともに、雷被害の最小化の為、ノウハウを活用した具体的な雷対策のアドバイス等も積極的に行っています。

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



(※) 「株式会社フランクリン・ジャパン」 HP

<https://www.franklinjapan.jp/>



(※) 「株式会社フランクリン・ジャパン / 雷(らい)ぶらり」

<https://www.franklinjapan.jp/raiburari/>



⇒ 全国高等学校体育連盟(高校総体主宰団体)会議の雷対応資料として、『雷(らい)ぶらり/身を守る(頁)』を利用させていただきました。

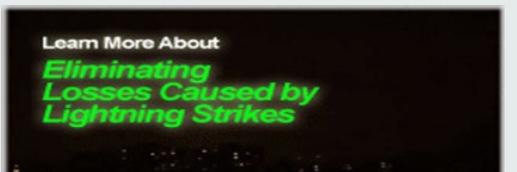
(※) 「エースライオン株式会社 / 雷の話」

<http://www.ancelion.co.jp/kaminari/kaminari.html>



(※) 「SANKOSHA U.S.A., INC / Learn More About」

<http://sankosha.vn/all-about-lightning.aspx>



<事業会社としての社会貢献>

企業としての社会的責任を果たす為、これからも環境・品質・情報セキュリティに対するマネジメント強化に努めています。また、パートナーシップを活性化、持続可能な開発目標達成に向けた実施手段を拡大してまいります。

4 質の高い教育を
みんなに



『質の高い教育をみんなに』

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

12 つくる責任
つかう責任



『つくる責任 つかう責任』

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

8 働きがいも
経済成長も



『働きがいも経済成長も』

生産的な完全雇用およびDecentWork(※)を推進する

16 平和と公正を
すべての人に



『平和と公正をすべての人に』

平和で包摂的な社会を推進し、効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

※ 働きがいのある人間らしい仕事

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

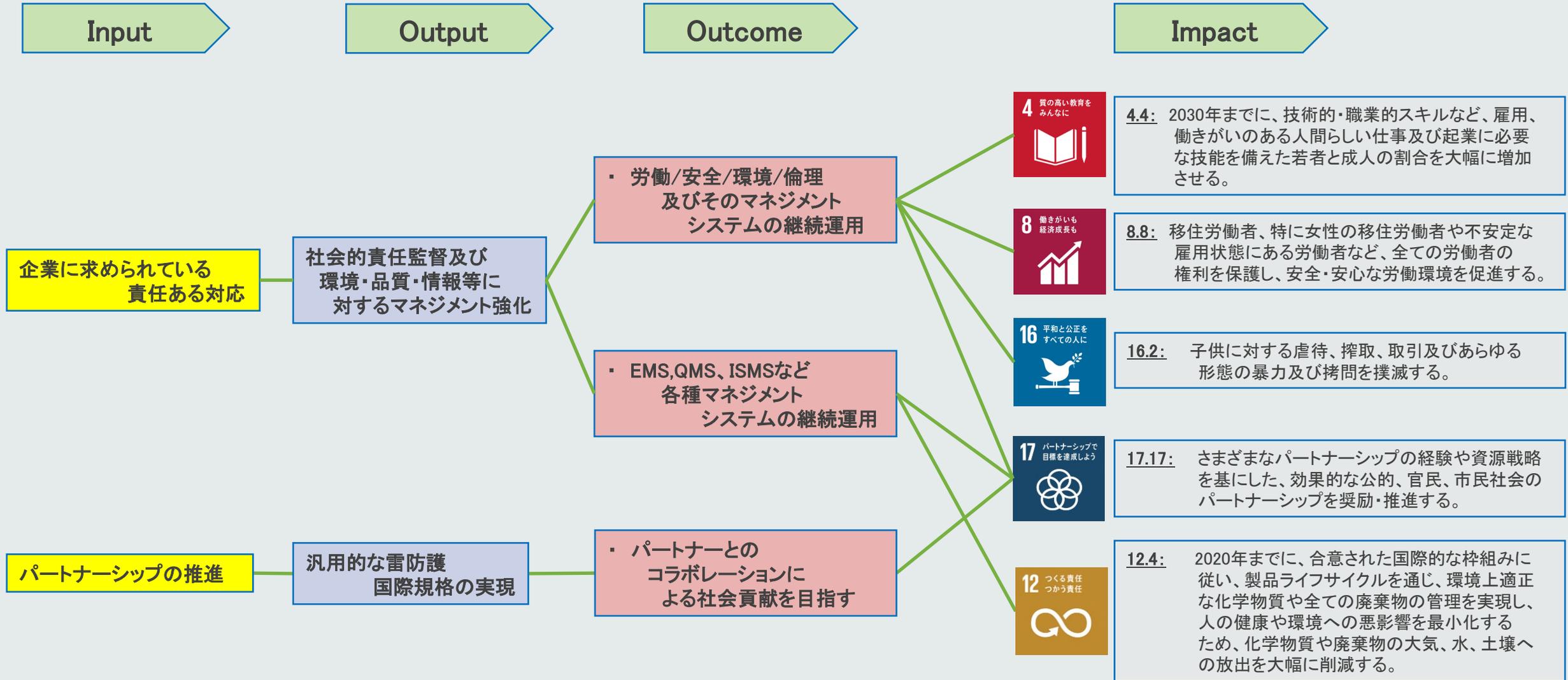


『パートナーシップで目標を達成しよう』

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



サンコーシャグループSDGs活動のロジックモデル <事業会社として社会貢献>



カーボンニュートラルの実現 に向けた接地抵抗低減材を開発

接地工事において、接地抵抗値を低減するために用いる製品が接地抵抗低減材です。

弊社従来品と比べ、製造過程でのCO2排出量を低減させるため、バイオマス発電の副産物である炭素材料(付随的CO2排出ゼロ)を利用しています。

また、バイオマス発電の原料となる材料は、そのまま自然放置すると微生物による分解作用でCO2が大気中に放出されますが、バイオマス発電で炭化されたことによるCO2固定化の効果など、それらを特長とした製品となっています。

従来の化石燃料由来の材料を自然由来の材料に切り替え、接地抵抗低減効果と環境配慮を兼ね備えた次世代の接地抵抗低減材【バイオサンアース】を実現しました。

Environmentally friendly earthing enhancing compounds

BIO SAN-EARTH

環境配慮型
接地抵抗低減材

バイオサンアース

12 つくる責任
つかう責任



特長

環境配慮

地球温暖化の原因となるCO₂を9.6kg土壌に貯留

炭素貯留量算定式*より算出した製品1袋当たりのCO₂貯留量。セメントのCO₂排出量及び製造に関わるCO₂排出量は除く。

*農林水産省 農地施用におけるJクレジットの方法論より。

従来製品と比較して6kgの軽量化

サンアースM5C:1袋25kgに対し、バイオサンアースは1袋19kg。

1袋あたりの施工長は変わらず帯状施工で約3m(掘削幅0.5m)。運搬・施工の負担軽減。

軽量化

低減効果

従来製品と同等の接地抵抗低減効果

帯状施工3mの接地抵抗値(関東ローム層):サンアースM5Cは73Ω、バイオサンアースは59Ω*

*当社実験場における埋設試験結果。

仕様

項目	仕様
組成	バイオマス発電の副産物、セメント
比抵抗	0.5Ω・m以下 IECに準拠した測定(IEC62561-7)
梱包重量	19kg/袋



化石燃料由来の
材料から
自然由来の材料へ
チェンジ

温室効果
ガスの
排出量を削減

バイオマス
発電副産物

バイオマス
発電の副産物
を採用し、
土壌への炭素
貯留を推進

責任あるサプライチェーン構築

- ・ 茲許、不当な低賃金労働・強制労働・劣悪な労働環境・安全衛生管理・製造プロセスにおける環境への悪影響などに対して国際的な関心が高まり、注目されているRBA認証(Responsible Business Alliance)を、グループ会社/PT. Sankosha Indonesiaは継続的に取得しています。
- ・ PT. Sankosha Indonesia 及び当社グループでは、これからもサプライチェーンにおける社会的責任維持に注力してまいります。



【 Certificate of Responsible Business Alliance 】

PT. Sankosha Indonesia

No.1 Best in Company 2022

- ・ グループ会社/PT. Sankosha Indonesiaは、WAA (WORLD ACHIEVEMENT ASSOCIATION) が主催するインドネシアベストインアワード2022において、さまざまなジャンルの中から、『 No.1 Best in Company 2022 』を受賞しました。
- ・ 今後も、お客様のご期待及び信頼に応える製品・サービスを提供ができるよう一層努力してまいります。



【 Certificate of Special for the Winner 】

PT. Sankosha Indonesia

環境・品質・情報への取組み

ISO14001(EMS) :

事業領域における環境負荷の持続的な軽減をめざし、積極的な改善に取り組んでいます。

ISO9001(QMS) :

製品開発における検証、製造～出荷の全領域で改善活動を行い、品質向上に取り組んでいます。

ISO27001(ISMS) :

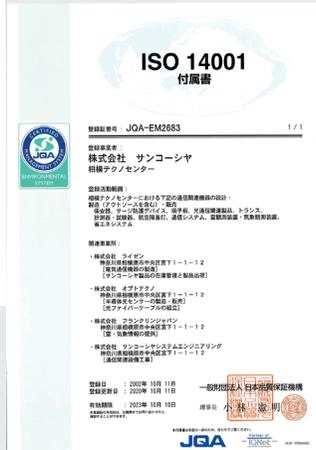
情報の保護と適切な取扱いにより、信頼性を向上、お客様に安心してお取引いただけるよう取り組んでいます。



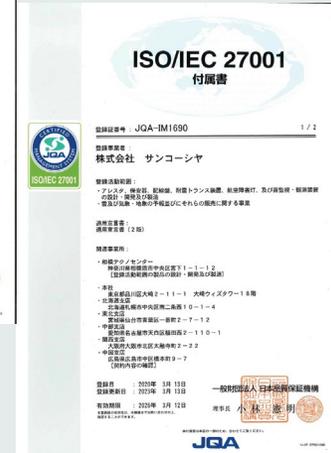
ISO19001マネジメントシステム登録証



ISO14001マネジメントシステム登録証



ISO/IEC27001マネジメントシステム登録証



SDGs目標達成に向けて

- ・ 事業活動と各種社会貢献活動を通じて持続可能な社会実現に貢献してゆく取組みをスタートして以来、同活動の継続実施に向け、SDGs活動や働き方改革の推進など、定期的に専門シンクタンクによるヒヤリングを受け、目標達成に向けた活動状況等のチェックとアドバイスを受け、より効果的な活動を実施していくように努力を続けています。
- ・ サンコーシヤグループは、これからも『持続可能な開発目標 / SDGs』の主旨に沿って、より積極的に持続可能な社会実現に貢献してゆくことを目指してまいります。



SDGs推進融資実行証



働き方改革推進融資実行証